

2026年度 大学院入試（11月期）（フランス語フランス文学専攻）

修士課程 「専門科目」

（2025年11月1日実施）

合否判定の方法 《専門科目（フランス語・フランス文学）》《英語》《口述試験》

専門科目（100点）、英語（100点）および口述試験（100点）により評価する。

合否判定の基準 専門科目（50点以上）、英語（50点以上）および口述試験（60点以上）であること。

《専門科目》（100点満点）**I（20点）**

出題意図

フランス語の文献・資料を正しく理解できるかを判定するため、フランス語の文章について要点の把握の力を見る。

長文出典

« Slow fashion : la mode éthique finira-t-elle par s'imposer ? » (Elle Belgique, 2021)

II（20点）

出題意図

フランス語で自分の考えを表現できるかを判定するため、フランス語による作文で表現力を見る。問題は選択式で、受験者は2つの問題から1つを選んで解答する。

III（20点）

出題意図

フランス語の文献・資料を正しく理解できるかを判定するため、フランス語の文章について細部読解の力を見る。

正答例

- 1.（翻訳問題）
- 2.（翻訳問題）
- 3.コロナ危機によって都市生活の問題が明らかになり、多くの人々が田舎への移住を決意したこと。
- 4.（ア） en augmentation
- 5.田舎の生活を理想化しすぎる移住者と現地住民とのあいだで摩擦が生じているため。
- 6.「エコ・ディズニールランド」とは、移住者が田舎暮らしを、実際の生活があることを考慮せずに自然をテーマとしたアミューズメントパークのようにとらえていること。
- 7.（ア）×（イ）○（ウ）×（エ）○

長文出典

France Culture, « Néo-ruraux : pour le meilleur ou pour le pire... », le 19 janvier 2021

IV（20点）

出題意図

フランス語の文献・資料を正しく理解できるかを判定するため、フランス語の文章について日本語訳の力を見る。

長文出典

Timothée de Fombelle, *Victoria rêve*, Gallimard Jeunesse, 2012

V (20点)

出題意図

フランス文学史の基礎的知識を有しているかを判定する。

正答

問1 A. (h) Jean Racine B. (f) Antoine-François Prévost C. (k) Stendhal D. (a) Charles Baudelaire
E. (g) Marcel Proust F. (j) Jean-Paul Sartre

問2 (自由記述)